

2024年11月13日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、下記に記載しております経営理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、日々変化するニーズへの対応や安定的な資産形成、「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提案・提供を通じ、安定的で満ち足りた生活と豊かな地域社会づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することができる統一的な指標」（「比較可能な共通K P I」）も同時に公表いたします。

堺市農業協同組合

【堺市農業協同組合の経営理念】

JA堺市は、農業振興を通じて、「食」・「農」・「緑」を守り、かけがえのない自然を次世代に引き継ぎます。

JA堺市は、地域のみなさまとともに生き、地域のみなさまとの共感の中で、心ふれあう地域づくりに取り組みます。

JA堺市は、高い倫理観と責任感を持ち、地域社会に貢献できる事業と組織づくりに取り組みます。

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な金融商品、共済仕組み・サービスの提供

(1) 金融商品

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

- 組合員・利用者の皆さまに提供する金融商品は、特定の投信運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、組合員・利用者の皆さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- 金融商品の選定にあたっては、組合員・利用者の皆さまの色々な「投資に関する好み」に合った商品を揃えつつ、「選びやすさ」、「長期投資への適性」を考慮し、一定の商品数に絞った『セレクトファンド』により商品提供を行います。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	9 (前年度末：8)
株式型	6 (前年度末：6)	7 (前年度末：7)
REIT型	2 (前年度末：2)	3 (前年度末：3)
バランス型	1 1 (前年度末：1 1)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

<セレクトファンド選定基準>

- ① 将来の備えに向けて「長期投資」を前提とした投資信託であること。
- ② 手数料が良心的な水準であること。
- ③ 過去の運用実績が相対的に良好であること。
- ④ これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては過度な分配金を捻出する投資信託ではないこと。
- ⑤ 運用体制について、外部機関の評価を得ていること。

※商品選定の考え方：JAバンクHP

<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な金融商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

- 当組合は、組合員・利用者の皆さまの生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は令和5年度で94.9%となっており、高水準を維持しております。

I.取組状況

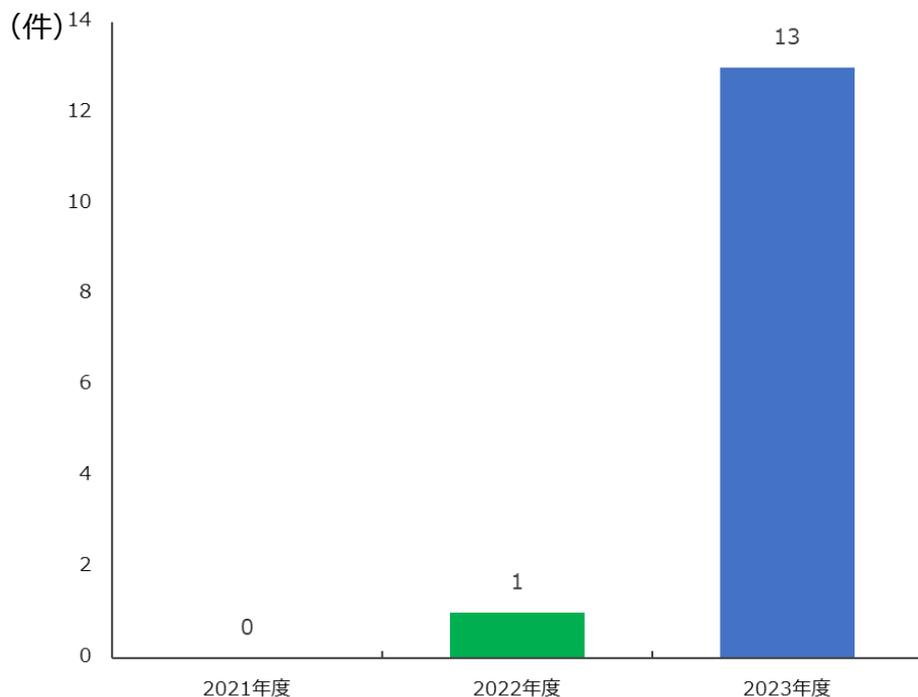
2 組合員・利用者本位のご提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

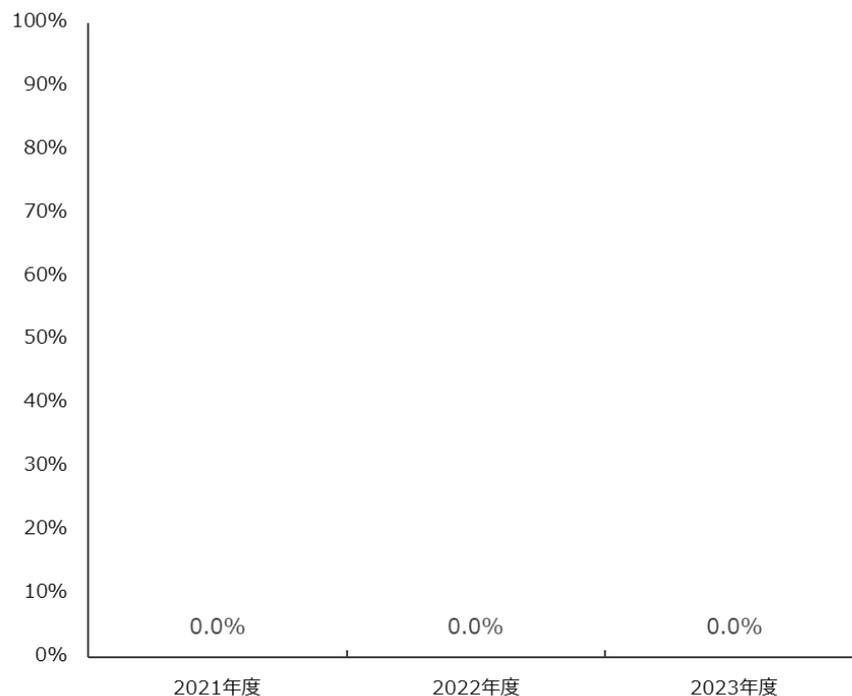
(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆さまへの商品提案にあたっては、「スタイル診断シート」を活用し、金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客様にふさわしい商品をご提案いたします。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I. 取組状況

2 組合員・利用者本位のご提案と情報提供②

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

(1) 信用の事業活動

- 組合員・利用者の皆さまへの商品提案にあたっては、「重要情報シート」により、当組合の提供する投資信託商品が長期運用を前提としたものであることなど、商品の性質を明確にしたうえで商品提案を実施いたします。
- 組合員・利用者の皆さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について資料を提供のうえ分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。

一括

JAバンク 資産運用スタイル診断シート

資産運用・資産形成をご検討するにあたり、ご自身の、運用スタイルを確認してみましょう

©ブルくん ©ベアたん

JAバンク

積立

JAバンク 資産運用スタイル診断シート

資産運用・資産形成をご検討するにあたり、ご自身の、運用スタイルを確認してみましょう

ご存じですか?

積立投資とNISA(つみたて投資枠)の違い

	積立投資 (一般口座/非課税口座)	NISA (成長投資枠)	NISA (つみたて投資枠)
利益への課税	20.315%の課税	非課税	非課税
投資できる金融商品	制限なし	上場株式・投資信託等 ①国債・地方債等 ②国債等の国債基金、毎月分配型の投資信託及びデリバティブ取引を用いた一定の投資商品に限定	国が定めた基準を満たした商品
積立金額	最低金額あり、上限なし	年間240万円	年間120万円
投資可能期間	制限なし	制限なし	制限なし
換金連携	できる	できない	できない
繰越控除	できる	できない	できない

中面へ 「NISA(つみたて投資枠)ではじめよう」へ

詳しくはJA窓口、担当者へお尋ねください!

JAバンク

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」
(金融情報提供)

1. 投資性の基本情報 (当組合がお客様へ金融商品の販売【又は販売仲介】をする際です)

販売先	株式会社JAバンク
登録番号	証券付託番号(株名)第170号
法人名称	JAバンク
販売先の詳細を載せたウェブページ	https://www.ja-bank.co.jp/

2. 投資性の詳細 (当組合がお客様にご提供できる金融商品の種類は次のとおりです)

許容(投資性あり)	<input type="checkbox"/>	許容(投資性あり)	<input type="checkbox"/>
業内形式	<input type="checkbox"/>	外国形式	<input type="checkbox"/>
円建て	<input type="checkbox"/>	外国建て	<input type="checkbox"/>
積立投資 (成長投資)	<input type="checkbox"/>	投資信託	<input type="checkbox"/>
ファンドラップ	<input type="checkbox"/>	ETF、ETN	<input type="checkbox"/>
REIT	<input type="checkbox"/>	その他の上場商品	<input type="checkbox"/>
高リスク	<input type="checkbox"/>	高リスクあり	<input type="checkbox"/>
これらの以外の種類	<input type="checkbox"/>		

※他に投資性がある場合があります。

3. 販売プラットフォームの考え方 (当組合のコンセプトや販売方法は次のとおりです)

JAバンクでは、いちいち「投資」に関する説明に当たっては、お客様にとっての適切な商品を提供し、一定の期間にわたって「JAバンク セレクトファンド」を通じて販売しております。

・「JAバンク セレクトファンド」のラインナップは、常に以下の基準をもちに商品を選択しております。選択にあたっては外部機関からの意見を踏まえ検討し、適切な金融商品の運用実績などのモニタリングも行っております。

・長期投資・短期投資にわたって、長期投資・短期投資に合わせた投資商品であること。(いわゆるテーマファンドではないこと)

・手数料・手数料が低くはたしては必要であること

・運用実績・過去の運用実績が良好に良好であること

・投資性・ご自身の目的に合った商品を提供していく。長期投資に際しては、運用中の商品を選択する投資商品ではないこと

・上記の考え方は、運用方針について、お客様に提供させていただきます。

・上記の考え方は、ホームページにも掲載しております。
<https://www.ja-bank.org/jp/sameru/foabanktak/welch/>

・なお、投資に関する説明については、JAバンクは、販売促進、利用者の健全なリスク管理(※1)を重視し、リスク許容度に応じた商品を提供しております。

※1: リスク許容度とは、ご自身の資産を許容できるかを判断に際するもので、JAバンクでは、リスク許容度を4段階とし、それぞれのリスク許容度に応じた商品をお薦めしております。

4. 問合せ・相談窓口

販売性の詳細を問い合わせる窓口	相談センター(072-278-3500) リスク管理相談センター(072-278-3633)
法人名称の問い合わせ窓口	JAバンク
金融庁のコールセンター(消費者相談)	0570-016811 (03-5253-6811)

2 組合員・利用者本位のご提案と情報提供③

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

(2) 共済の事業活動

① 共済仕組み・サービスのご提案

- ・ ライフプランやニーズに合った共済にご加入いただけるよう、組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握したうえで、最良・最適な共済仕組み・サービスをご提案しております。

② 情報提供

- ・ 各種公的保険制度の情報提供を行うとともに、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

③ 契約締結時の対応

- ・ タブレット端末機「Lablet's（ラブレッツ）」を活用し、ご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

④ 高齢者対応

- ・ ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはご家族の同席等を徹底するなどきめ細やかな対応を行っております。

⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- ・ ご加入後も、3 Q活動を通じて共済金の請求忘れの確認をするなど組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
- ・ 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等はお負担いたしません。

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および(注)】

- 組合員・利用者の皆さまへの商品選定や情報提供にあたり、組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

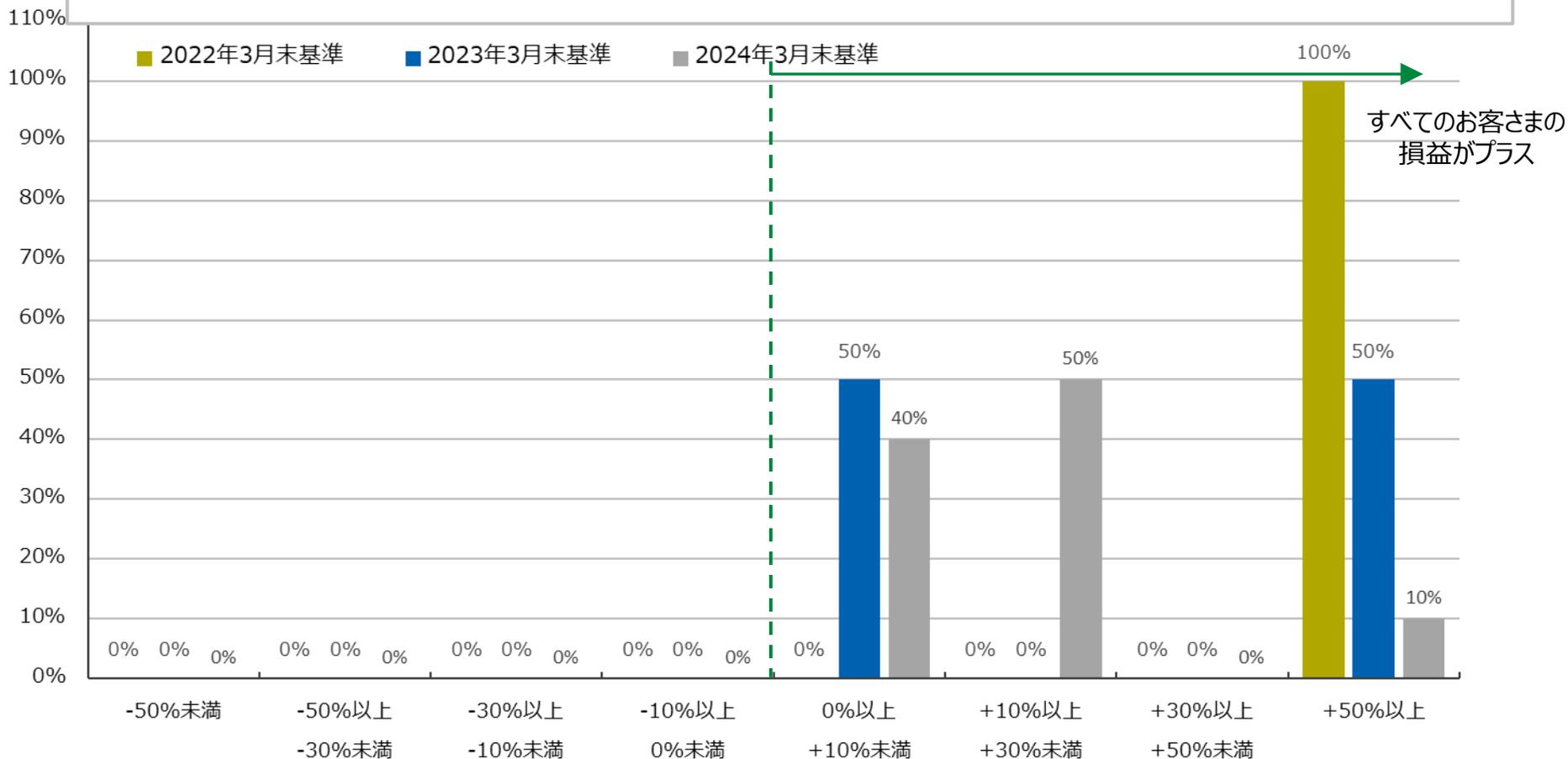
【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

- 組合員・利用者の皆さまの信頼を獲得するため、満足していただける金融商品、共済仕組み・サービスを提供できるよう、報告・連絡・相談しやすい風通しのよい職場づくりにつとめます。また、職員の継続的・定期的な研修会の実施による担当者の知識向上と提案力強化につとめるとともに、組合員・利用者の皆さまの多様な資産運用や資産形成、保障ニーズに応え、的確な金融商品、共済仕組み・サービスを提供、公正・誠実な事務を行うことができる人材を育成し、組合員・利用者さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。
 - 組合員・利用者の皆さまへの適切な提案に資する高度な専門性を有する職員育成のため、研修会の受講や外部資格取得を推奨しています。
 - 証券外務員資格再研修（対象：証券外務員登録職員）
 - ライフアドバイザー認証要件研修（対象：普及担当職員）
 - スマイルサポーター認証要件研修（対象：共済担当職員）
- ＜推奨する外部資格＞
- 証券外務員2種（対象：全職員）
 - 証券外務員1種（対象：全職員）
 - 内部管理責任者試験（対象：全職員）
- 組合員・利用者の皆さまからいただいた「声（お問い合わせ・ご相談・ご要望、苦情など）」を職員一人ひとりが誠実に受け止め、全体に周知のうえ、業務改善に取り組むとともに、組合員・利用者の皆さまに対して、最適な金融商品、共済仕組み・サービスを提供できるよう、継続的に職員育成を行う態勢をはかり、お客様からより一層信頼され、ご満足いただけるよう取り組みます。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点ではすべてのお客さまの損益がプラスとなりました。

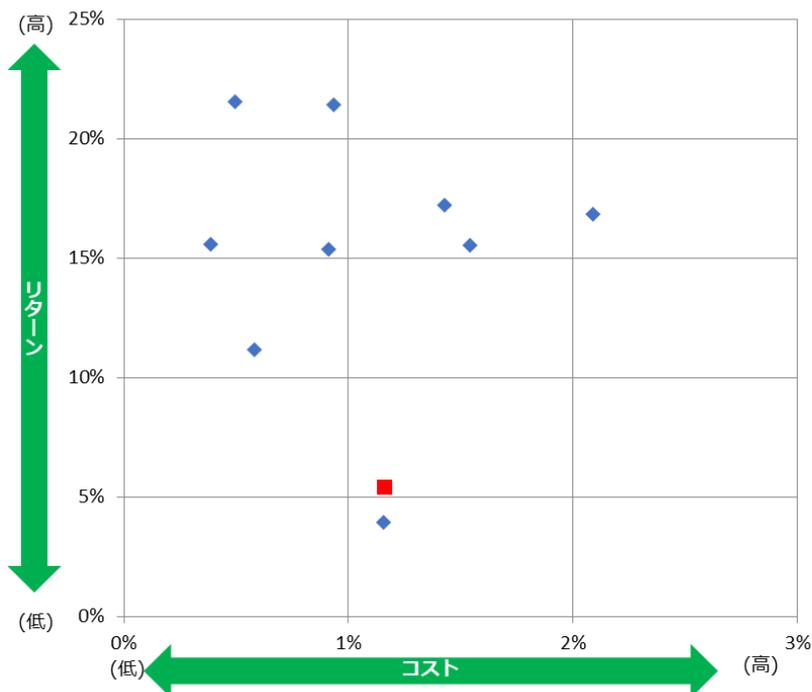


Ⅱ.比較可能な共通K P I

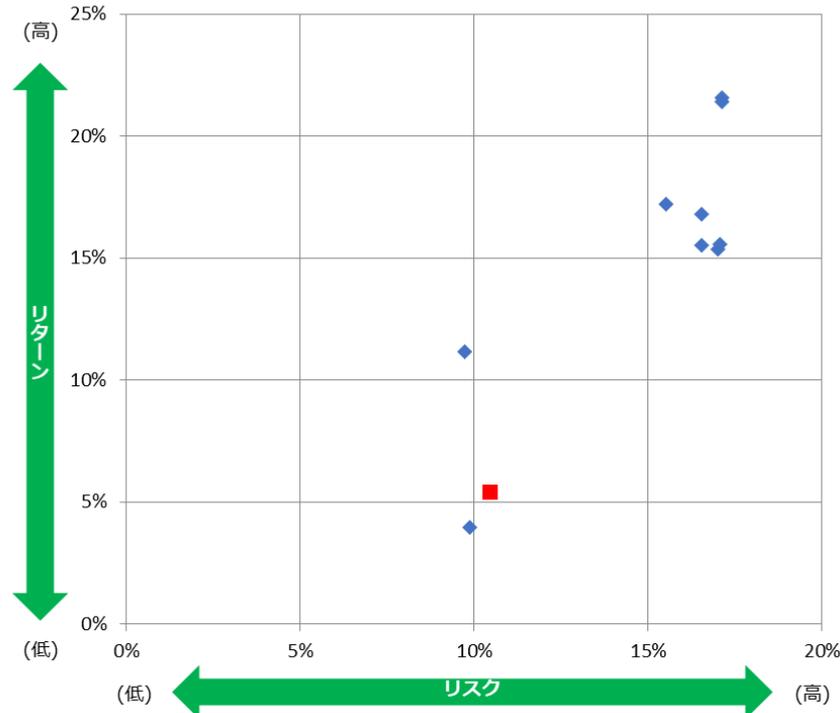
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.16%、平均リスク10.46%に対して、平均リターンは5.38%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



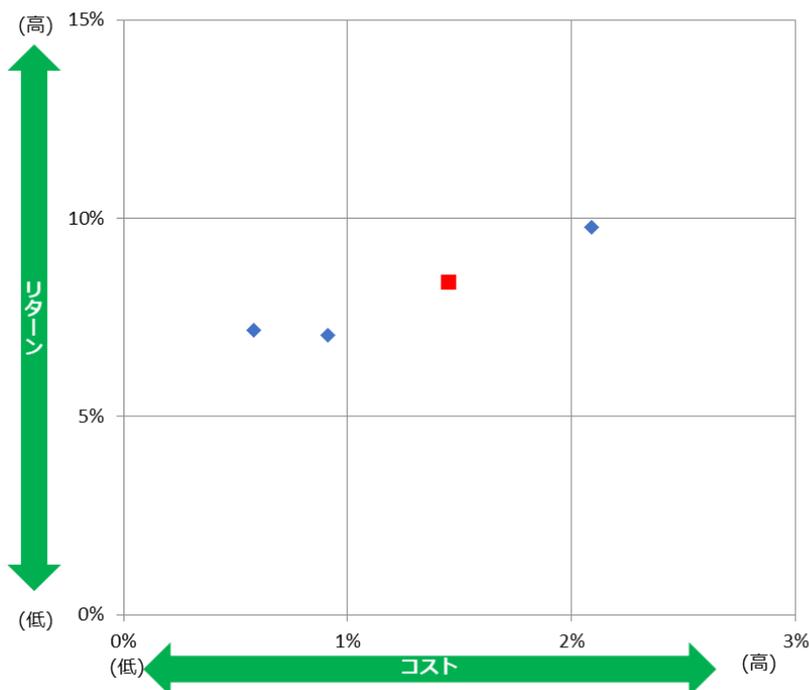
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

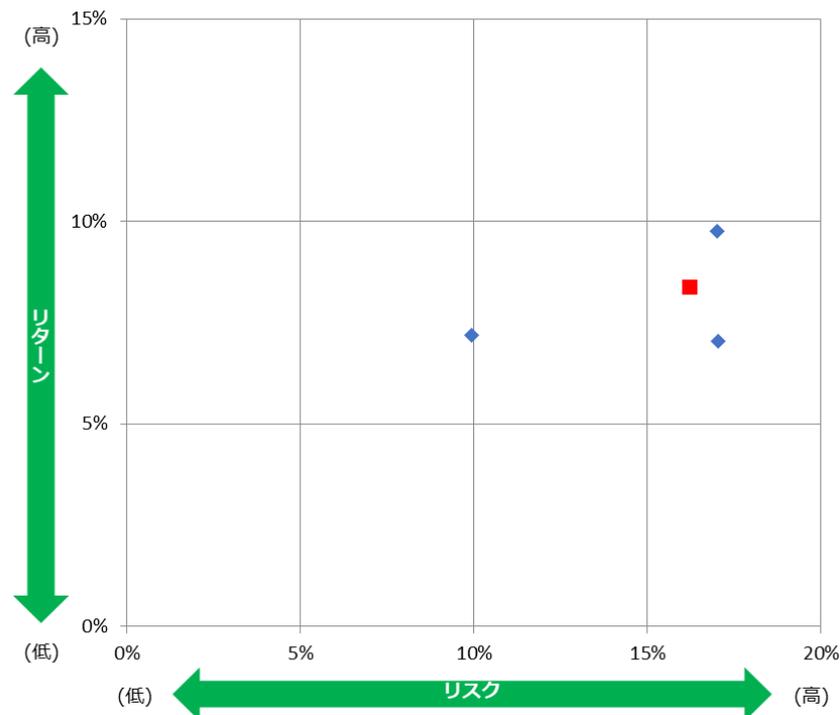
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.45%、平均リスク16.21%に対して、平均リターンは8.39%となりました。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



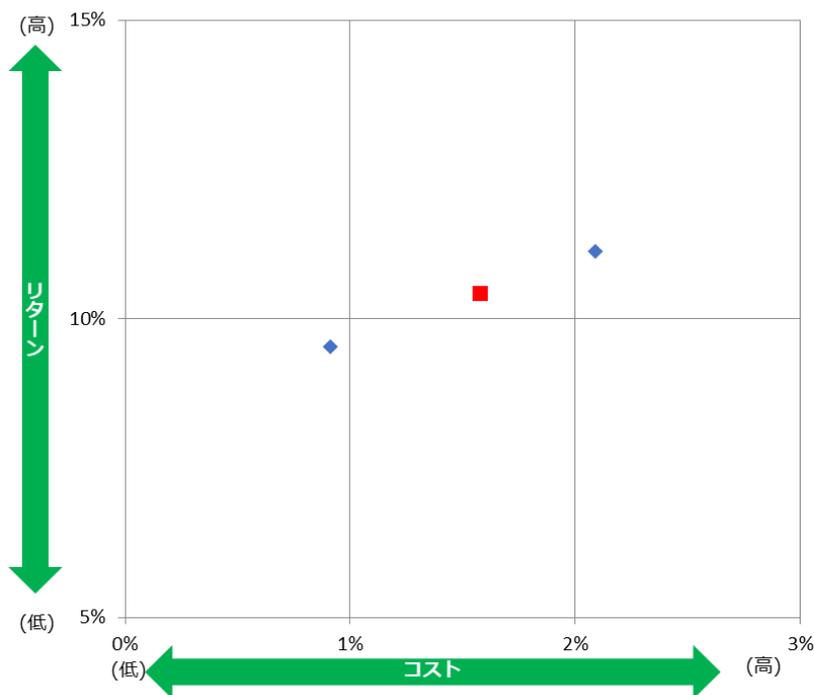
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

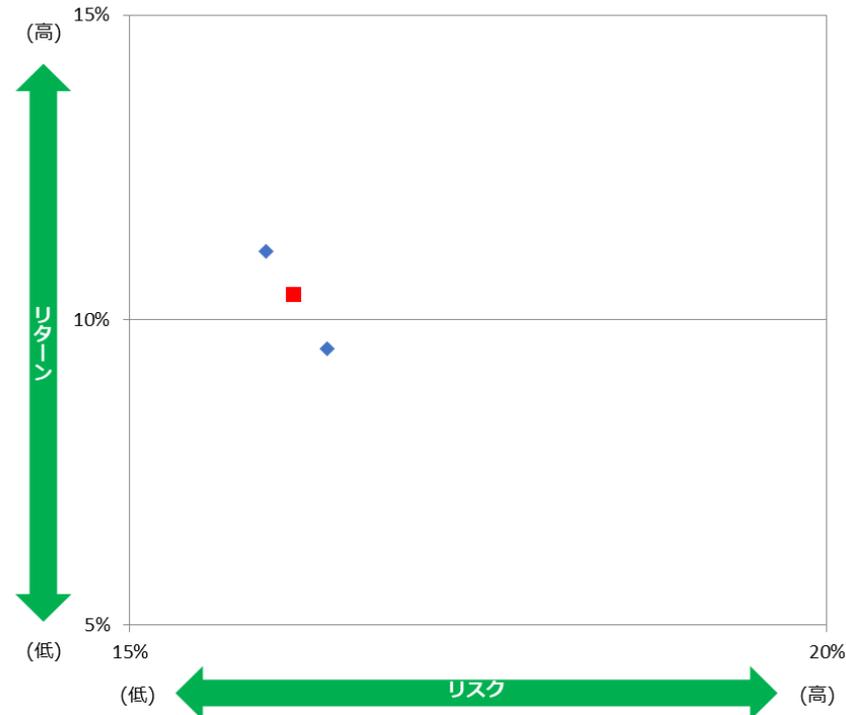
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.58%、平均リスク16.17%に対して、平均リターンは10.43%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [※] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
3	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
5	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	16.82%	16.55%	2.09%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
7	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
8	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
9	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		5.38%	10.46%	1.16%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は9本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.76%	16.99%	2.09%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		8.39%	16.21%	1.45%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	11.13%	15.98%	2.09%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		10.43%	16.17%	1.58%

※ 2022年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は2本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。